

令和元年度 グリーンランドみずほ ホッケーグラウンドスタンド屋根設置工事

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
意-1	建築工事特記仕様書-1	-	構-1	構造特記仕様書-1	-
-2	建築工事特記仕様書-2	-	-2	構造特記仕様書-2	-
-3	付近免取図	-	-3	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	-
-4	敷地面積・求積図・求積表	1:250	-4	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	-
-5	配置図	1:250	-5	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(3)	-
-6	平面図・立面図・断面図	1:100	-6	鉄骨構造標準図(1)	-
-7	平面詳細図・断面詳細図	1:50 1:30	-7	鉄骨構造標準図(2)	-
-8	雑詳細図	1:3 1:30	-8	ベースバック柱間工法設計施工標準図	-
			-9	地質調査位置図・柱状図	-
			-10	基礎伏図・R階梁伏図・軸組図・ 地中壁・壁柱・基礎リスト	1:100 1:30
			-11	鉄骨柱・大梁・継手リスト	-
			-12	鉄骨小梁リスト	-
			-13	架構詳細図	1:20

建築工事特記仕様書

【1】工事概要

1. 工事場所
京都府船井郡京丹波町大朴 地内

2. 敷地面積
11,982.9 m²

3. 建築物概要

棟名	構造	階数	建築面積(m ²)	延べ面積(m ²)	備考
スタンド屋根	鉄骨造	1	59.20	84.60	

4. その他

【2】適用範囲

現場説明書（質疑回答を含む）、本特記仕様書、図面、標準仕様書に示す範囲とする。
すべての設計図書は相互に補完するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。
上記の標準仕様書とは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成28年版）」をいう。（以下、これを「標仕」という。）
本書に特に記載のない事項にあっても、すべて、「標仕」の適用を受けるものとする。

【3】工事区分

設計図書による。
別契約の施工上密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。

【4】工事仕様

1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「標仕」のほか別記の適用基準による。
2. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
3. 特記事項は、●印の付いたものを適用する。
※印の付いた場合は、共に適用する。
※印が抹消された場合は、●印のみ適用する。
4. 項目及び特記事項に記載の（ ）内表示番号は「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章項目

特記事項

1

一般共通事項

③ 特別な材料の工法

設計図書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

④ 風圧力及び積雪に対する性能

(8.4.3、8.5.3)
(10.5.3)
(13.2.3～13.4.3)

⑤ 現場代理人

本工事の施工にあたっては、請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任しなければならない。

⑥ 工事工程報告

月報は毎月末日に於て、翌月5日までに提出する。
日報は監督員の指示による。
週報は毎週（ ）曜日に提出する。

⑦ 工事実績情報の登録

(1.1.4)

⑧ 設備工事との取合い

⑨ 施工図等の取扱い

(1.2.3)

⑩ 工事写真

(1.2.4)

11 電気保安技術者

(1.3.3)

⑫ 施工条件

(1.3.5)

⑬ 発生材の処理等

(1.3.11)

章項目

特記事項

14 発生材の処理等

(7.5.1) 生成形板

15 技能士

(1.5.2)

16 化学物質の濃度測定

(1.5.9)

⑪ 完成図

(1.7.2)

⑫ 保全に関する資料

(1.7.3)

19 中長期保全計画書

① 足場その他

(2.2.4)

2

仮設工事

章項目

特記事項

2 監督員事務所

(2.3.1)

3 埋め戻し及び盛土

(3.2.3)

② 建設発生土の処理

(3.2.5)

3 山留めの撤去

(3.3.3)

4 基礎種別

2 地盤の載荷試験

(4.2.4)

③ 砂利及び砂地業

(4.6.3)

④ 捨てコンクリート地業

(4.6.4)

5 床下防湿層

(4.6.5)

6 土間断熱材

7 地盤改良

仮設工事

土工事

地業工事

業務名称

令和元年度 グリーンランドみずほ
ホッケーグラウンドスタンド屋根設計業務

工事名称

令和元年度 グリーンランドみずほ
ホッケーグラウンドスタンド屋根設置工事

図名

建築特記仕様書ー1

設計年月

令和元年11月

図面番号

意ー01

株式会社 東亜設計
一級建築士事務所

管理建築士 橋本 恵
1級建築士 登録第125566号

章

項

目

鉄筋工事

5

①鉄筋の種類
(5.2.1)

2溶接金網
(5.2.2)

③鉄筋の継手
(5.3.4)
(5.3.5)
(5.5.3)

④鉄筋のかぶり厚さ
(5.3.5)

5圧接完了後の試験
(5.4.9)

特

記

事

項

項

(表5.2.1)

異形鉄筋	種類の記号	径 (mm)	備考
	※SD295A	D16以下	一般建築物の柱・梁の主筋に適用する
	※SD345	D19以上	
	○		

※SD295AはF_o:21以上の場合、壁筋及びスラブ筋に適用する

網目の形状、寸法鉄線の径mm

部	位	接	合	方	法	径 (mm)	重ね継手の長さ
※柱・梁の主筋	○	重ね継手	※ガス圧接継手	D19以上	○	標仕表5.3.2	による
○	機械式継手	○溶接継手					
※その他	○	重ね継手	※ガス圧接継手	D16以下	※	構造図による	
○	機械式継手	○溶接継手					

○機械式継手種類工法

品質確認方法、修正方法等

○溶接継手種類工法

品質確認方法、修正方法等

○鉄筋継手位置※構造図による○表5.3.3による

○柱に取付る梁の引張り鉄筋の定着長さ※構造図による○表5.3.4による

○軽量コンクリートで土に接する部分の鉄筋のかぶり厚さは下表による。
○塩害の受けるおそれのある部分等、耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。

施	工	箇	所	等	最	小	か	ぶ	り	厚	さ (mm)

機械式継手及び溶接継手のあき○

試験方法※超音波探傷試験○引張試験

項

目

コンクリート工事

6

⑦型枠 (せき板)
(6.2.5)
(6.8.2)
(6.8.3)

8スリーブ
(6.8.3)

⑨コンクリートの試験
(6.9.2)～(6.9.5)

10軽量コンクリート
(6.10.1)

11寒中コンクリート

⑫暑中コンクリート
(6.12.2)

13マスコンクリート
(6.13.1)
(6.13.2)

⑭コンクリート駐車車の過積載防止対策等

①鉄骨の製作工場
(7.1.3)

②施工管理技術者
(7.1.3)(7.1.4)

③鋼材の種類
(7.2.1)

④高力ボルト
(7.2.2)
(7.4.2)

特

記

事

項

項

合板の規格※「合板の日本農林規格」の「コンクリート型枠用合板の規格」による合板
合板の材種※広葉樹合板、針葉樹合板又はこれらの複合合板
厚さ (mm)※12
打放し仕上げのせき板
※合板せき板を用いる場合(表6.2.4)

種	別	板	面	の	品	質	施	工	箇	所
○	A種	※6.8.3(b)(1)	○							
○	B種	※6.8.3(b)(2)	○							
○	C種	※6.8.3(b)(2)	○							

○合板せき板を用いない場合
せき板の種類

外部に面する打放し仕上げの打増し厚さ※図示による○20mm
ひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法※図示による○

スリーブの材種(表6.8.1)

適	用	箇	所	材	種	(規	格	そ	の	他)
水密を要する地中部分等				※つば付き鋼管 (JIS G3452 の黒管に厚さ6mm以上、つば幅50mm以上の鋼板を溶接したもの)						
水密を要しない地中部分等				※硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K6741 のVU)						

上記以外の円形スリーブ※溶融亜鉛めっき鋼板 (径200mm以下は厚0.4mm以上、径200mmを超え350mm以下は厚0.6mm以上)
○

※フレッシュコンクリートの試験
○省略する

常時土又は水に直接接する部分の使用○可○不可
種別○1種※2種
施工箇所
気乾単位容積質量t/m³

予想平均気温が表6.3.2に示す予想平均気温未満の場合には標仕第6章第11節 (寒中コンクリート) による。

※暑中における構造体強度補正值 (S)

地	域	日平均気温が25度を超える期間 (打設日)	補	正	値
北	部	地	域	7月11日～8月31日	※6N/mm ² ○3N/mm ²
中	部	地	域	7月21日～8月31日	
南	部	地	域	7月1日～9月10日	

施工箇所
セメントの種類○中庸熟ポルトランドセメント
○低熟ポルトランドセメント
○高炉セメントB種
○フライアッシュセメントB種
○普通ポルトランドセメント
混和材料混和剤※AE減水剤又は高性能AE減水剤 (JIS A 6204)
○
混和材○フライアッシュのI種若しくはII種 (JIS A 6201) 又は高炉スラグ微粉末の3000又は4000 (JIS A 6206)
○
スランプ※15cm○

受注者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサー車1台毎の積載量が把握できる集計表を検査時に提出しなければならない。

項

目

鉄骨工事

7

①鉄骨の製作工場
(7.1.3)

②施工管理技術者
(7.1.3)(7.1.4)

③鋼材の種類
(7.2.1)

④高力ボルト
(7.2.2)
(7.4.2)

特

記

事

項

項

5溶融亜鉛めっき高力ボルト
(7.2.2)
(7.4.2)

⑥普通ボルト
(7.2.3)

⑦溶接材料
(7.2.5)

⑧ターンバックル
(7.2.6)

9デッキプレート
(7.2.7)(7.7.8)

⑩工作図
(7.3.2)

11仮組
(7.3.10)

⑫溶接作業における技能資格者
(7.6.3)

⑬溶接接合
(7.6.4)
(7.6.7)

⑭溶接部の試験
(7.6.11)

15耐火被覆
(7.9.2)～(7.9.7)

⑯アンカーボルト
(7.2.4)
(7.10.3)

⑰柱底均しモルタル
(7.2.9)
(7.10.3)

特

記

事

項

項

セットの種類○1類 (F8T相当)
摩擦面の処理
○プラスト処理 (表面粗度50μmRz以上)
○リン酸塩処理
すべり耐力等の確認方法※すべり耐力試験
試験方法等○図示による○
ボルト径○
溶接材料
※標準仕様書 7.2.5(a)(b)による
○図示による○
鋼の種類※割枠式○パイプ式
ボルトの種類※羽子板ボルト○両ねじボルト○アイボルト
材質、形状及び寸法※図示による○
高力ボルト、普通ボルトのゲージ、ヒッチ、ヘリあき等
※図示による (図に無い場合は鉄骨設計基準による)
○実施する部位 ()
○実施しない
溶接作業者の技量付加試験
※行わない
○行う試験の要領○図示による () ○
開先の形状
○図示による○構造関係共通図 (鉄骨標準図) による
○
エンドタブの切断○有○無
適用箇所※図示による○
スカラップの形状
○図示による○構造関係共通図 (鉄骨標準図) による
○改良型スカラップ
完全溶込溶接部の超音波探傷試験
※行う○行わない
○工場溶接の場合
AOQL○4.0%○2.5%
検査水準○第6水準 (節全て)
○工事現場溶接の場合
AOQL○4.0%○2.5%
種別

種	別	材	料	・	工	法	適用箇所 (部位・部分)
○	耐火材吹付け	○乾式吹付ロックウール ○半乾式吹付ロックウール ○湿式ロックウール ○					
○	耐火板張り	○繊維混入ケイ酸カルシウム板 ○					
○	耐火材巻付け	○高断熱ロックウール ○					
○	5mm張りモルタル塗り	-					

材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする

性能

性	能	適	用	箇	所	(部	位	・	部	分)
○	30分耐火									
○	1時間耐火									
○	2時間耐火									
○	3時間耐火									

適用
○構造用アンカーボルト
材質○SNR400B○
アンカーフレームの形状及び寸法
○図示による○
○建方用アンカーボルト
材質○SS400
アンカーボルトの保持及び埋め込み工法(表7.10.1)

種	別	○	A種	○	B種	○	C種
柱底均しモルタルの厚さ	○	50mm	○	30mm			

モルタルの種類※無収縮モルタル○
厚さ※図示による○
工法※A種○B種

項

目

鉄骨工事

7

⑱錆止め塗料
(7.8.3)
(18.3.2)

特

記

事

項

項

塗料の種類
●鉄鋼面の錆止め塗料
○表18.3.1による※A種○B種
○
○亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料
○表18.3.2による※A種○B種○C種
○
鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面 (鉄骨に溶接されたものに限る)
○表18.3.1による※A種○B種
○
耐火被覆材の接着する面への塗装
○行わない○行う

項

目

コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

8

①補強コンクリートブロック造
(8.2.2)～(8.2.4)

2コンクリートロック壁及び塀
(8.3.2)

3ALCパネル
(8.4.2)～(8.4.5)

4押出成形セメント板 (ECP)
(8.5.2)～(8.5.5)

特

記

事

項

項

ブロックの種類※16 (C種) 普通ブロック○16-W (C種) 防水ブロック
コンクリートの設計基準強度 F_o (N/mm²)
充填用及びむくさ※21以上○
上記以外※21以上○
各部の配筋※図示による
ブロックの種類(表8.3.1)

適	用	箇	所	種	類	の	記	号
間仕切壁、地下二重壁、外壁、塀				○	A種			空洞ブロック 16
外壁の化粧積み								空洞ブロック 16-W

各部の配筋※図示による
化粧化粧ブロック○有 ()
ブロック塀の基礎及び控壁のコンクリートの設計基準強度 F_o (N/mm²)
※18以上○
パネルの種類(表8.4.2)(表8.4.3)(表8.4.4)

区	分	単位荷重 (N/m ²)	厚さ (mm)	構	法	耐火性能
○外壁ハ種	※1180	○1960	※100 ○	○A種 ※B種		※有り (時間) ○無し
○間仕切ハ種	※640	○	※100 ○	※C種 ○D種	○E種	※有り (時間) ○無し
○屋根ハ種	※980	○	※100 ○	※F種		※有り (時間) ○無し
○床ハ種	○2350	○3530	○100 ○150	※F種		※有り (時間) ○無し

外壁ハ種の工法
※本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。
※建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。
○ハ種の最小限度を300mm以下とする場合mm
ハ種の出隅及び入隅のハ種接合部並びにハ種と他部材との取り合い部の目地幅mm
伸縮目地への耐火目地材の充填○適用する○適用しない

外壁ハ種の工法
※本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。
※建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。
ハ種相互の目地幅○図示による○mm
出隅及び入隅のハ種接合部目地の目地幅※15mm○mm

やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出すること。

ハ種に開口を設ける場合	短辺	開口の大きさ	切断後のハ種の残り部分の幅
ハ種を切り欠く場合	短辺		
	長辺		

項

目

屋根及びびとい工事

9

①性能

②折板葺
(13.3.2)

特

記

事

項

項

※本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。
形式による区分※重ね形＝●はせ縁め形○嵌合形
山高 (mm)90耐力
山ピッチ (mm)300板厚 (mm)※0.6＝●0.8
材料による区分※塗装溶融亜鉛めっき鋼板○(表13.2.1)
軒先面戸板※有り (軒先面戸・換気面戸)○無し
けらは変形防止材○鉄鋼製 (上塗り ※折板色 ○) ○スチール鋼製
断熱材張り○行う種類(無断熱変形防止材の場合)厚さ(25)防火性能(30分)
※建築基準法に基づき定まる風圧力・積雪荷重に対応した工法を品質計画により定める。
※製品・製造所・ヨドールフハゼ90山高90mm (株)淀川製作所 同等

項

目

令和元年度 グリーンランドみずほ ホッケーグラウンドスタンド屋根設置工事

業務名称

令和元年度 グリーンランドみずほ ホッケーグラウンドスタンド屋根設計業務

工事名称

令和元年度 グリーンランドみずほ ホッケーグラウンドスタンド屋根設置工事

設計

栗田 昌孝 一級建築士 登録第245376号
構造設計一級建築士 登録第7060号

設計年月

令和元年11月

縮尺

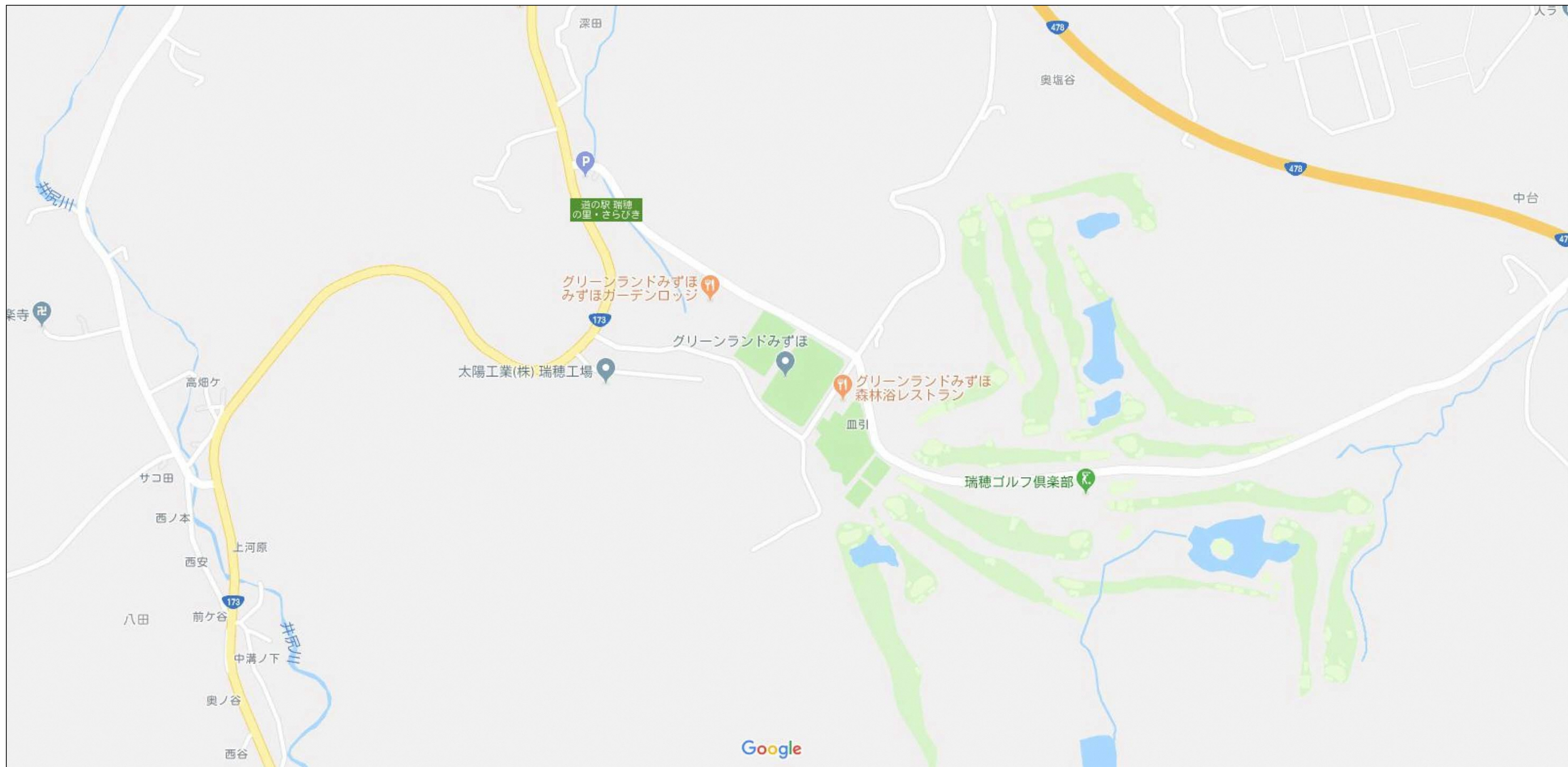
A1: ー
A3: ー

図面番号

意ー02

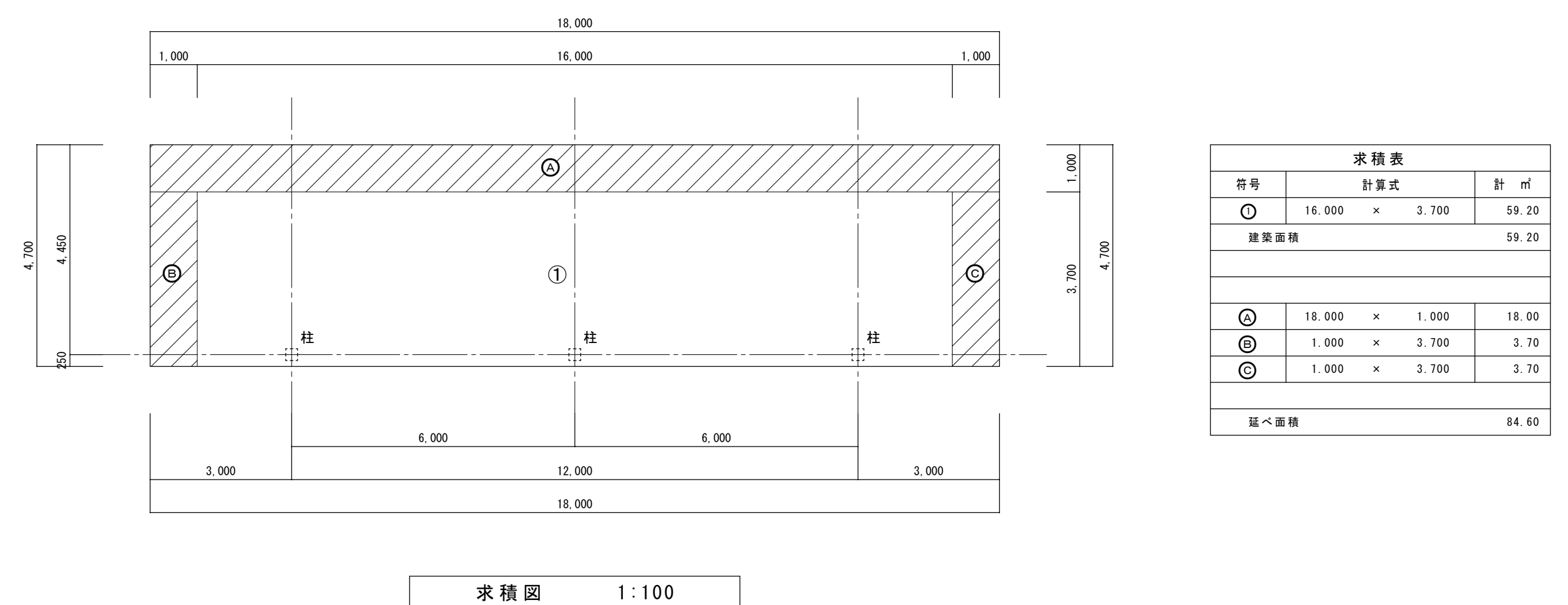
管理建築士 特本 恵
1級建築士 登録第125566号

株式会社 東亜設計
一級建築士事務所

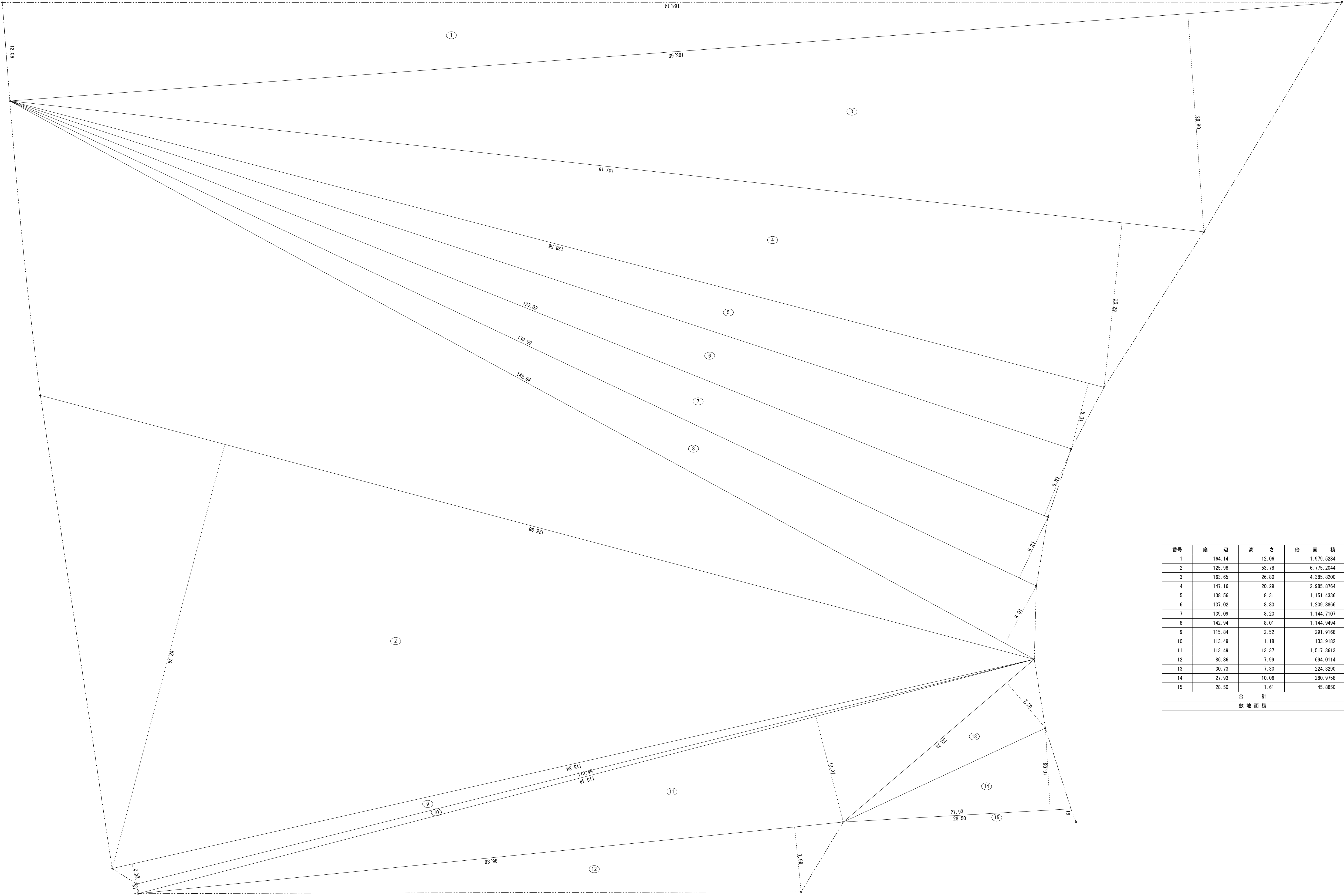
[illegible]

増築建築物					
K 棟	建物名称 スタンド屋根	構造 S	階数 平屋建	建築面積 59.200	延べ床面積 84.600
合計				59.200	84.600
改め				59.20	84.60

申請面積		建築面積	延べ床面積
	前回申請建築物	329.54	329.54
小計		329.54	329.54
	増築建築物	59.20	84.60
合計		388.74	414.14

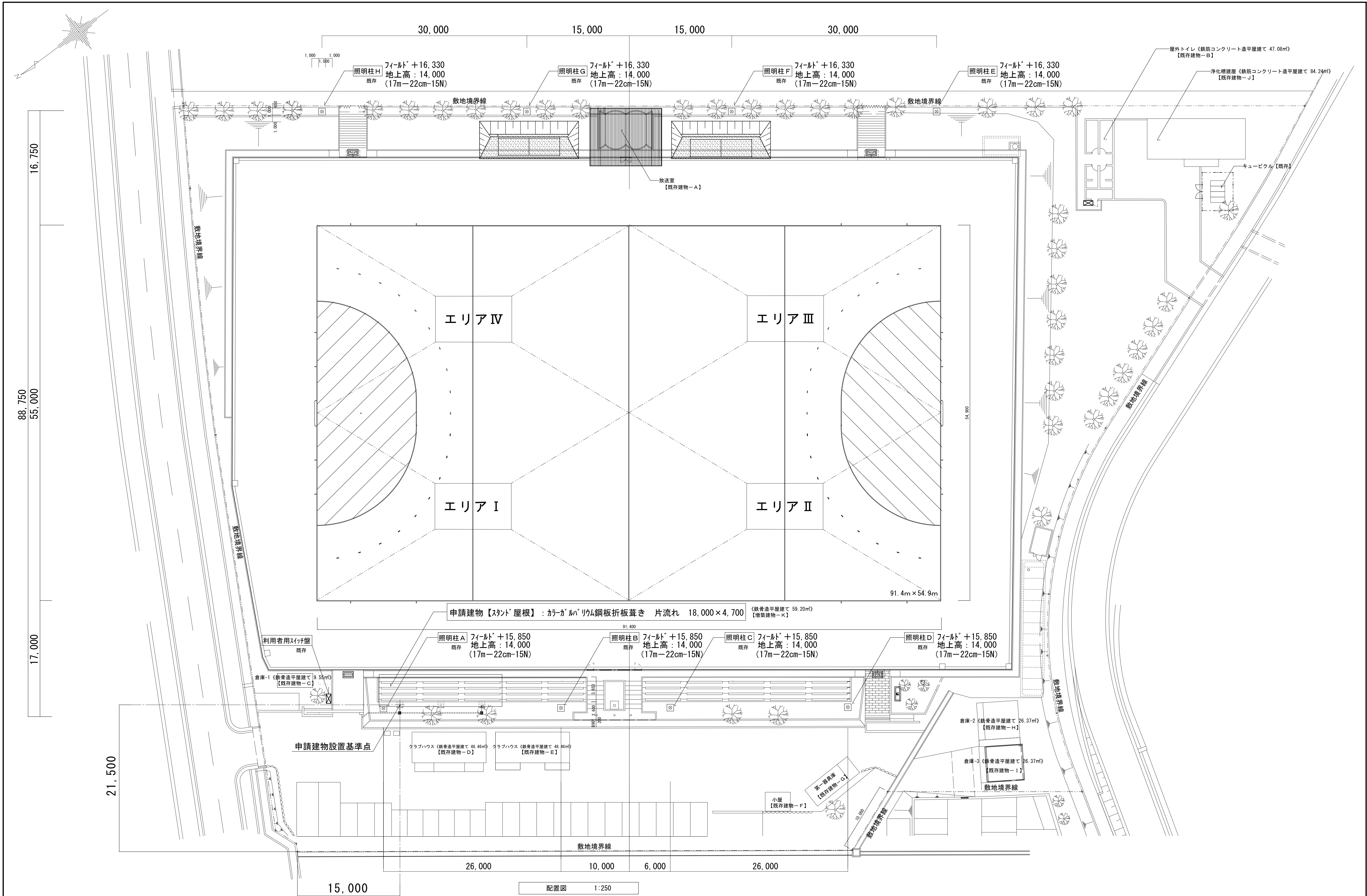


求 積 表				
符号	計 算 式		計 ㎡	
㊶	16.000	×	3.700	59.20
建築面積			59.20	
㊶	18.000	×	1.000	18.00
㊷	1.000	×	3.700	3.70
㊸	1.000	×	3.700	3.70
延 べ 面 積			84.60	

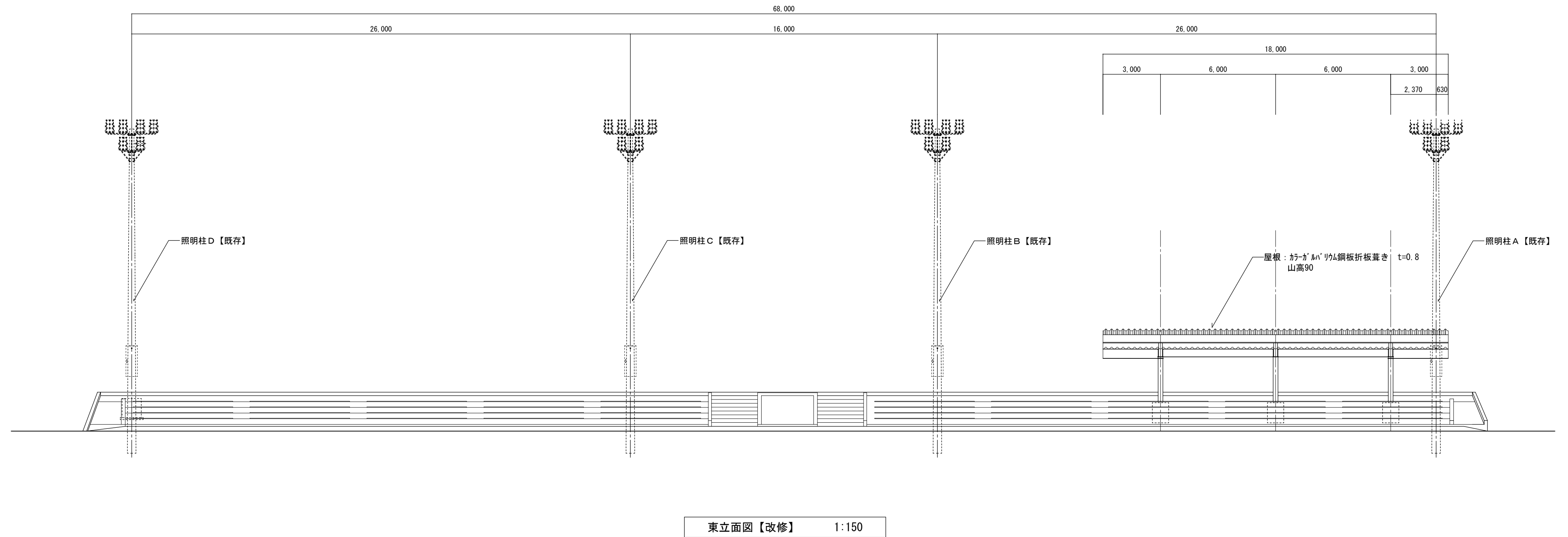
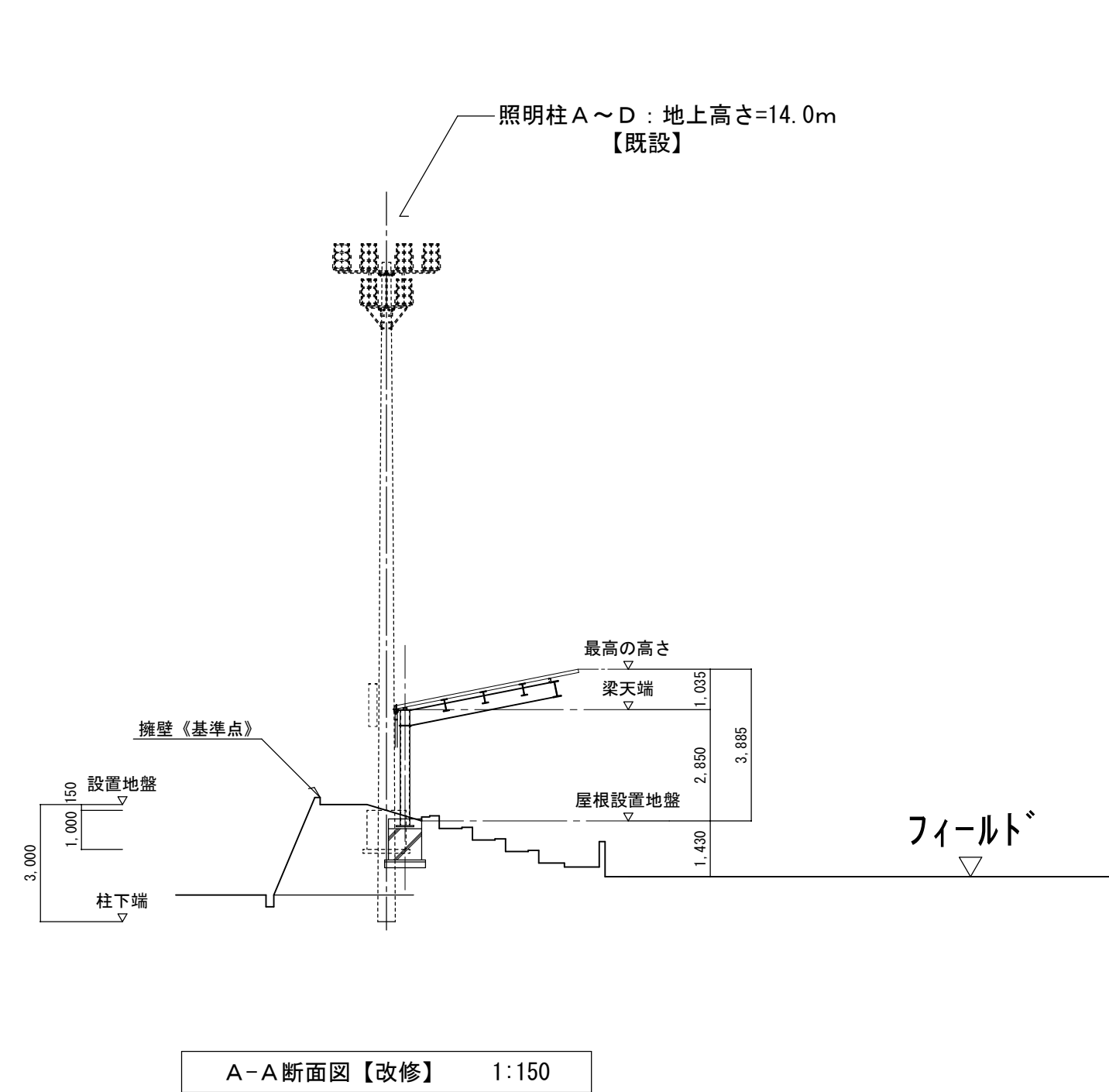
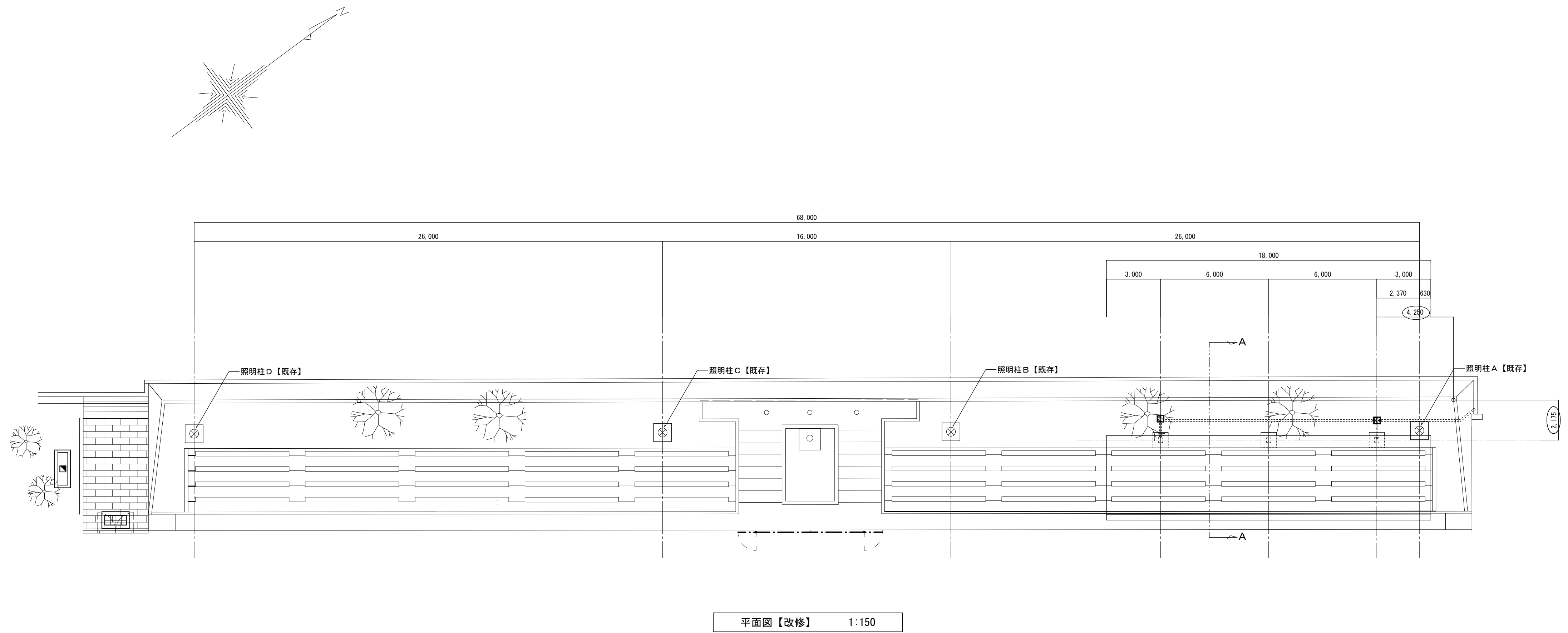
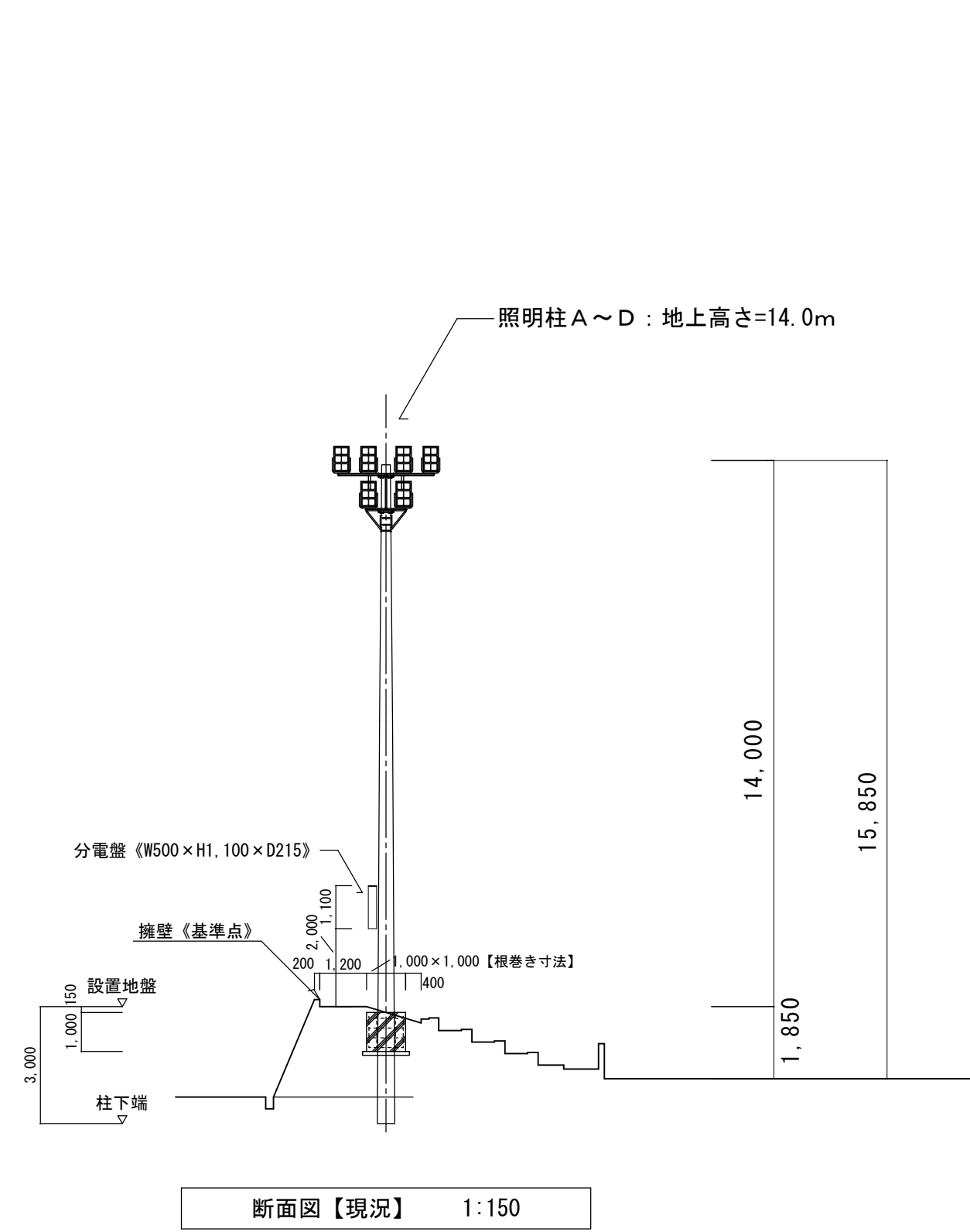


番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	164.14	12.06	1,979.5284	989.76420
2	125.98	53.78	6,775.2044	3,387.60220
3	163.65	26.80	4,385.8200	2,192.91000
4	147.16	20.29	2,985.8764	1,492.93820
5	138.56	8.31	1,151.4336	575.71680
6	137.02	8.83	1,209.8866	604.94330
7	139.09	8.23	1,144.7107	572.35535
8	142.94	8.01	1,144.9494	572.47470
9	115.84	2.52	291.9168	145.95840
10	113.49	1.18	133.9182	66.95910
11	113.49	13.37	1,517.3613	758.68065
12	86.86	7.99	694.0114	347.00570
13	30.73	7.30	224.3290	112.16450
14	27.93	10.06	280.9758	140.48790
15	28.50	1.61	45.8850	22.94250
合 計				11,982.90350
敷 地 面 積				11,982.90 m ²

敷地面積 求積図・求積表1:250



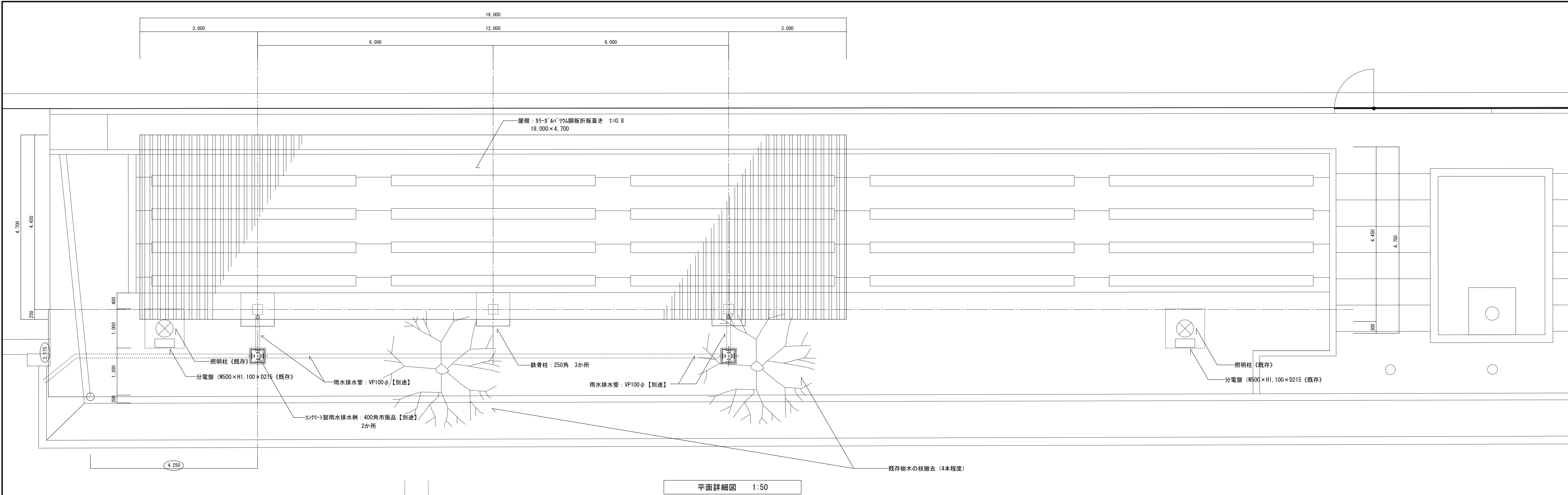
DATE : 20191028 スタンド寸法整理									
株式会社 東亜設計 一級建築士事務所	管理建築士 梅本 恵 1級建築士 登録第125566号	業務名称 令和元年度 グリーンランドみずほ ホッケーグラウンドスタンド屋根設置業務	工事名称 令和元年度 グリーンランドみずほ ホッケーグラウンドスタンド屋根設置工事	設計 栗田 昌孝 一級建築士 登録第245376号 構造設計一級建築士 登録第7060号	設計年月 令和元年11月	図面番号 意-O-5			
						縮尺 A1 : 1/250 A3 : 1/500			



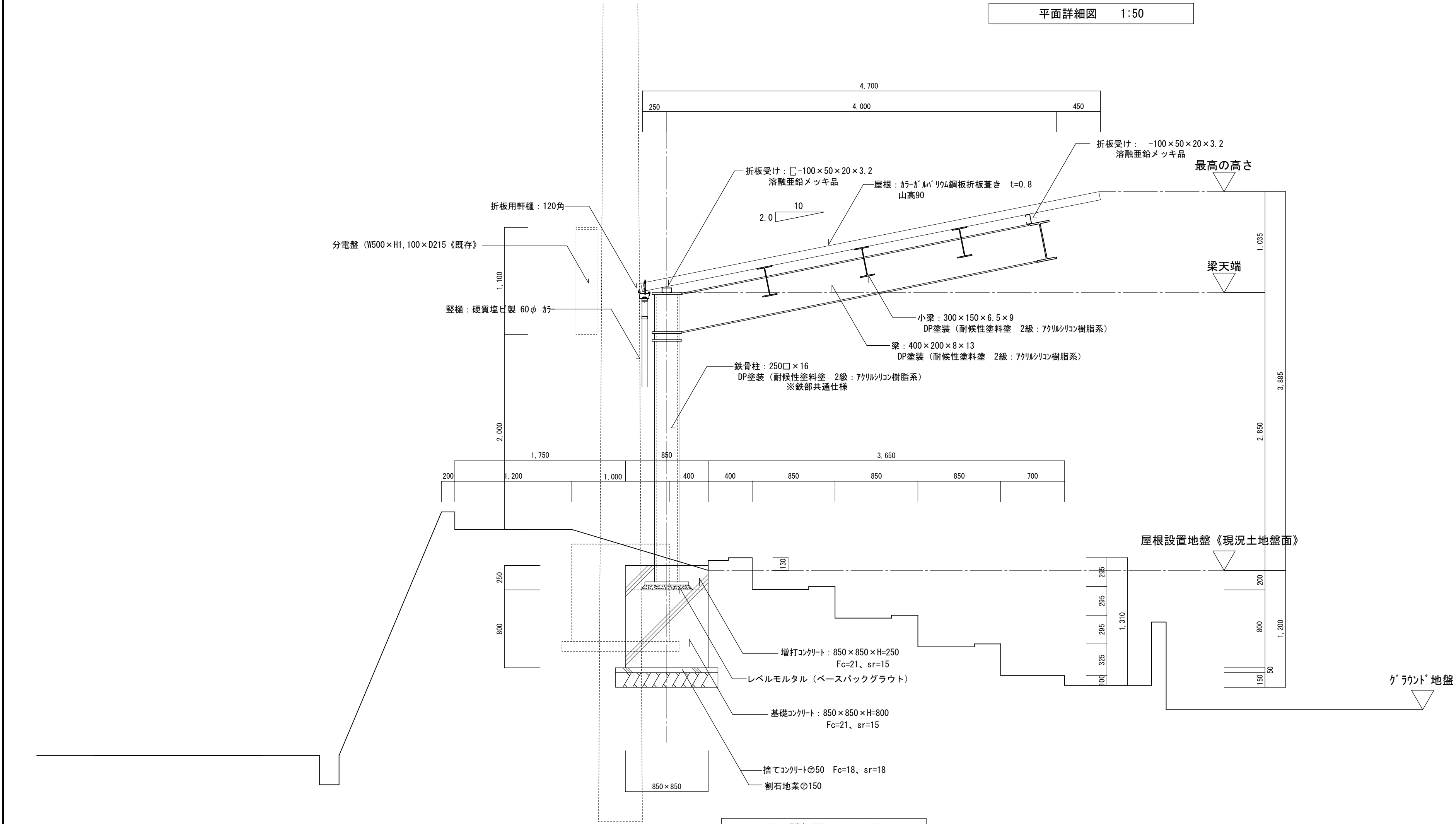
株式会社 東亜設計
一級建築士事務所

管理建築士 梅本 恵
1級建築士 登録第125566号

業務名称		令和元年度 グリーンランドみずほ ホッケーグラウンドスタンド屋根設計業務		工事名称	令和元年度 グリーンランドみずほ ホッケーグラウンドスタンド屋根設置工事		設 計	栗田 昌孝 一級建築士 登録第245376号 構造設計一級建築士 登録第7080号	設計年月	令和元年11月
図 名	平面図	立面図	断面図			縮 尺	A1 : 1/150 A3 : 1/300		図面番号	意-O-6



平面詳細図 1:50

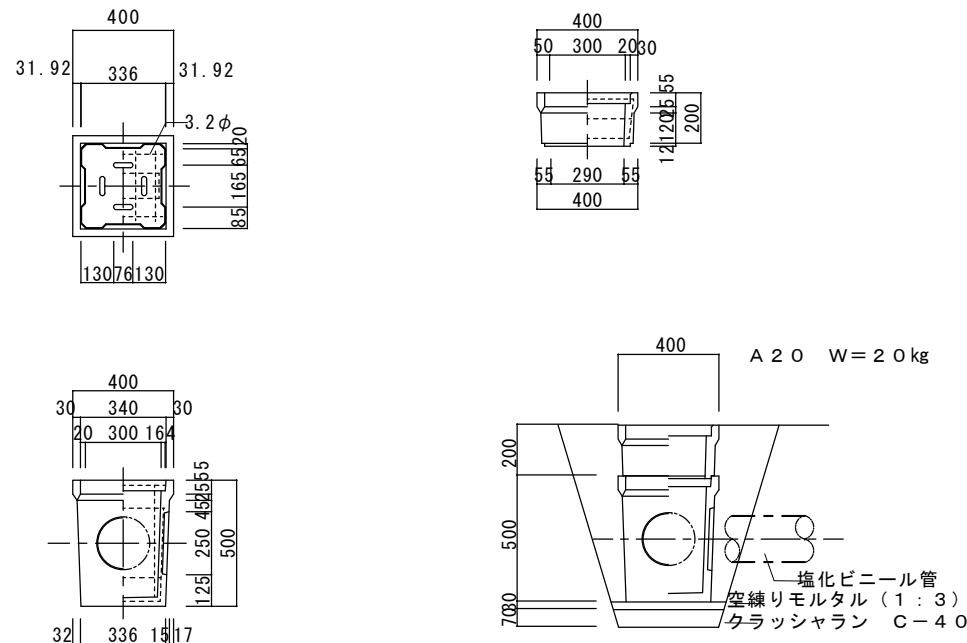
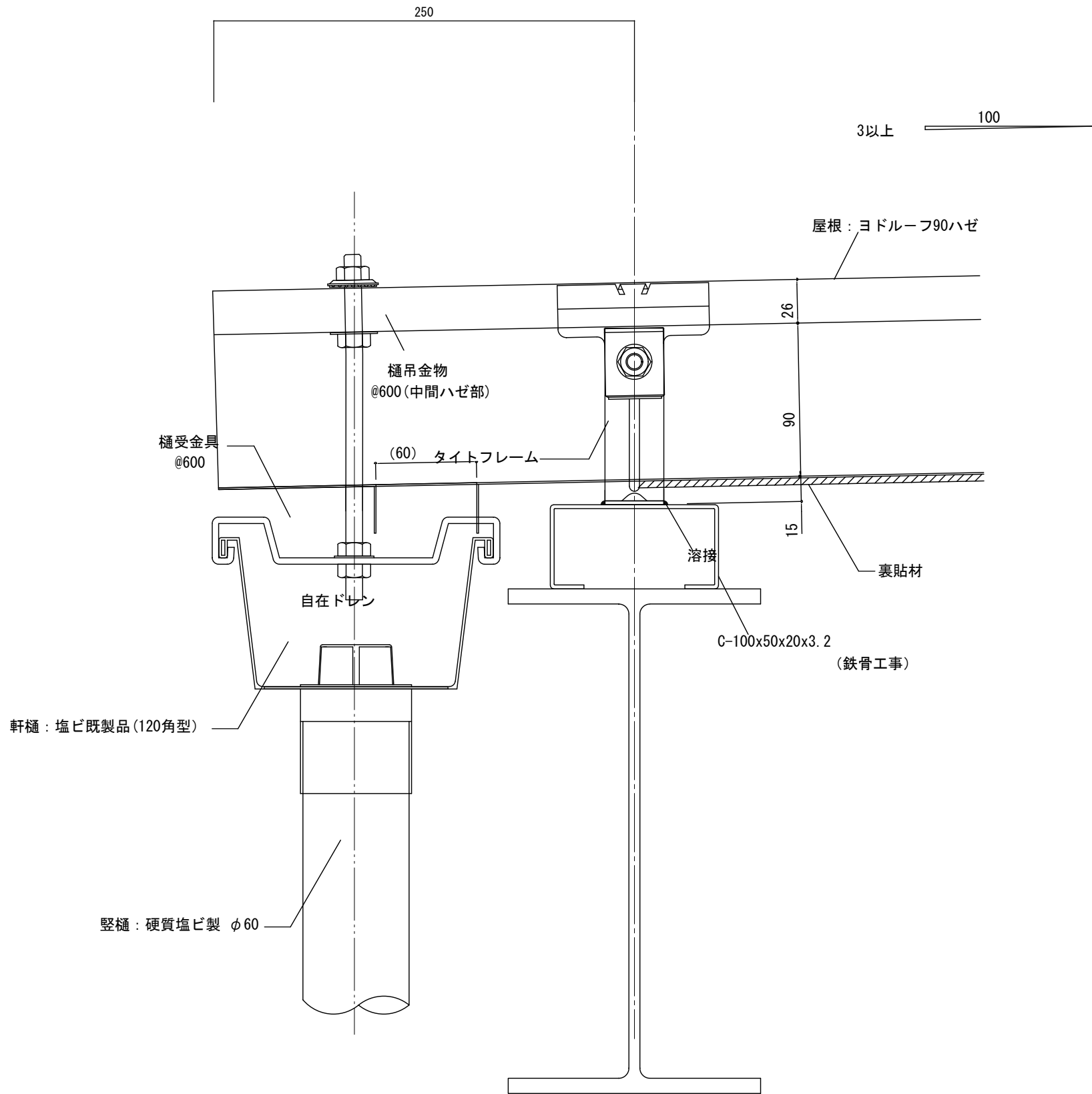
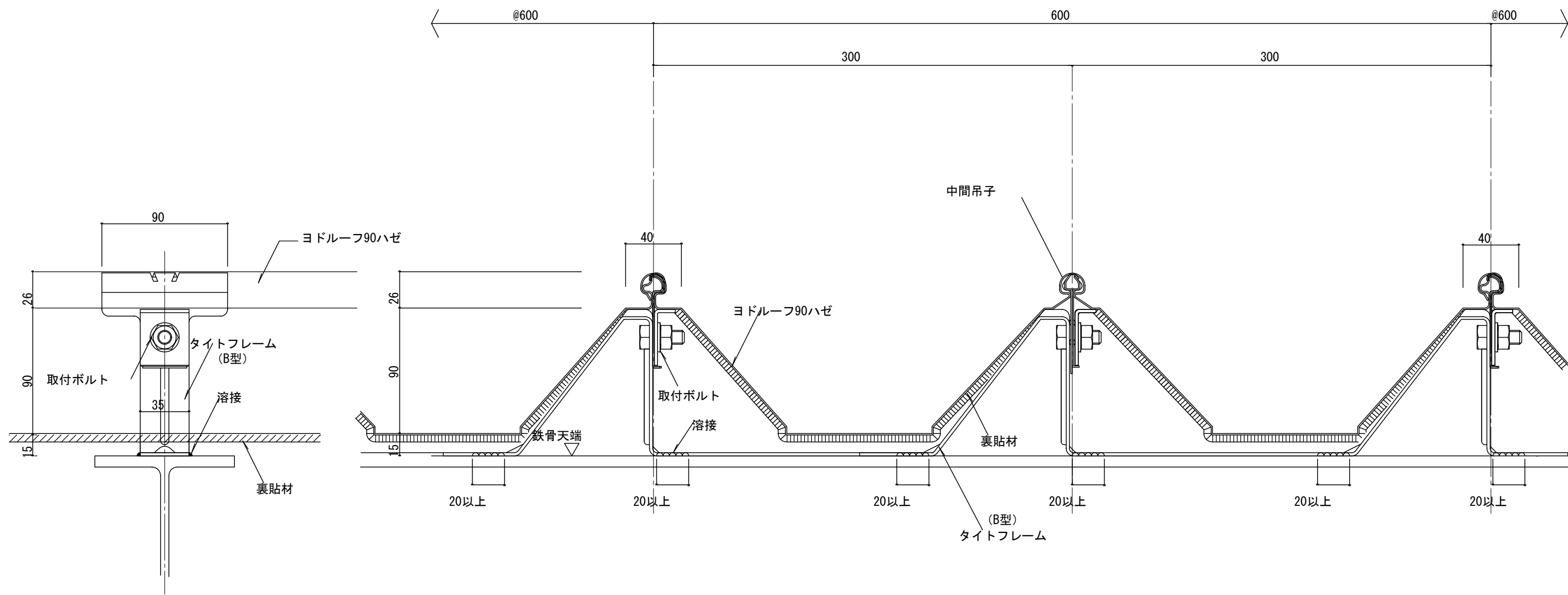


断面詳細図 1:30



DATE : 20191019

株式会社 東亜設計 一級建築士事務所		管理建築士 橋本 恵 1級建築士 登録第125566号	業務名称 令和元年度 グリーンランドみずほ ホッケーグラウンドスタンド屋根設計業務	工事名称 令和元年度 グリーンランドみずほ ホッケーグラウンドスタンド屋根設置工事	設計 栗田 昌孝 一級建築士 登録第245376号 構造設計一級建築士 登録第7080号	設計年月 令和元年11月
図 名 平面詳細図 断面詳細図					縮 尺 A1 : 1/50 1/30 A3 : 1/100 1/60	図面番号 意 - 07



株式会社 東亜設計
一級建築士事務所

管理建築士 梅本 恵
1級建築士 登録第125566号

業務名称
図名

令和元年度 グリーンランドみずほ
ホッケーグラウンドスタンド屋根設計業務
雑詳細図

工事名称

令和元年度 グリーンランドみずほ
ホッケーグラウンドスタンド屋根設置工事

設計
縮尺

柴田 昌孝 一級建築士 登録第245376号
構造設計一級建築士 登録第7060号
A1: 1/3 1/30
A3: 1/6 1/60

設計年月
図面番号
令和元年11月
意-08